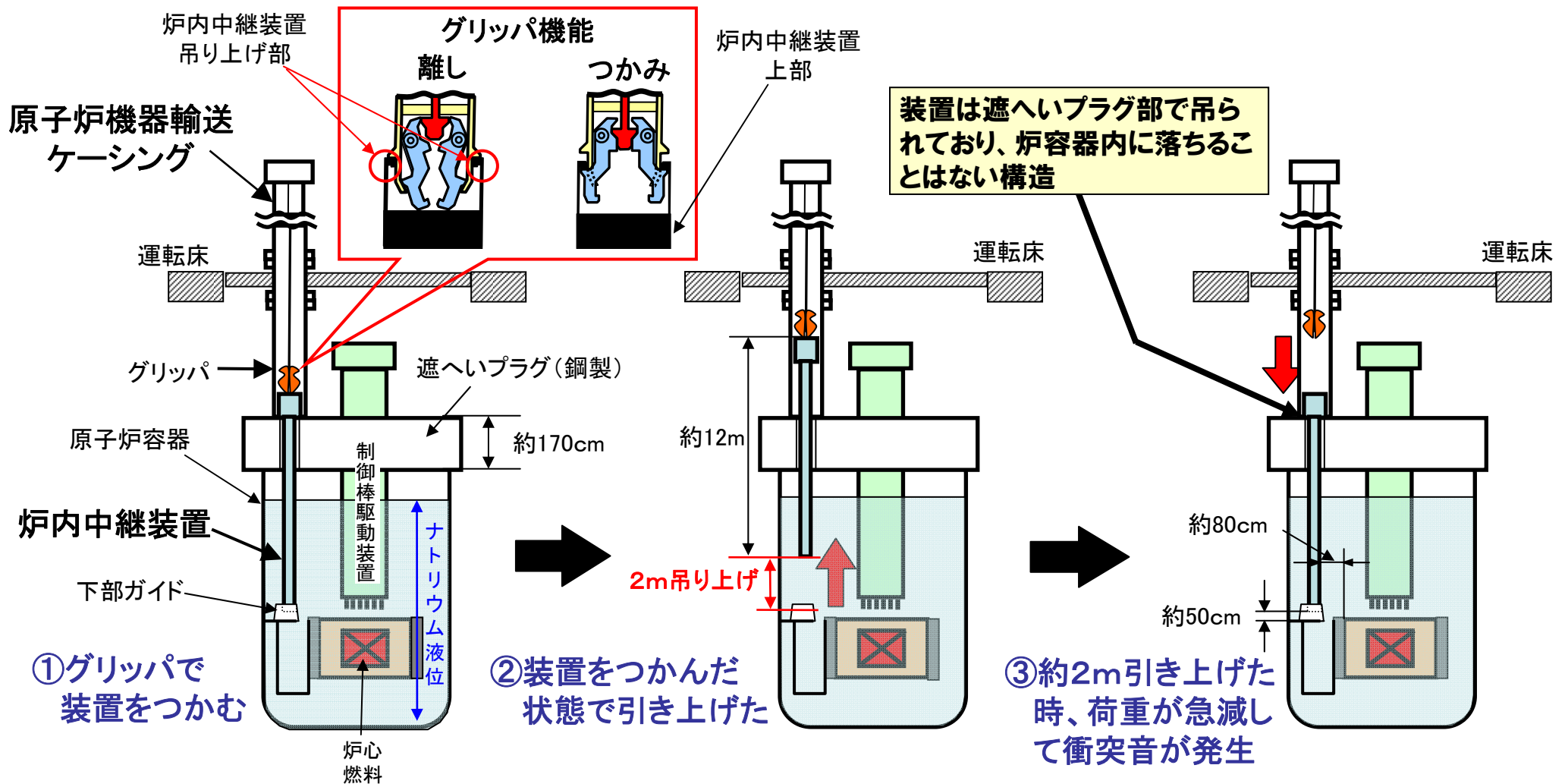


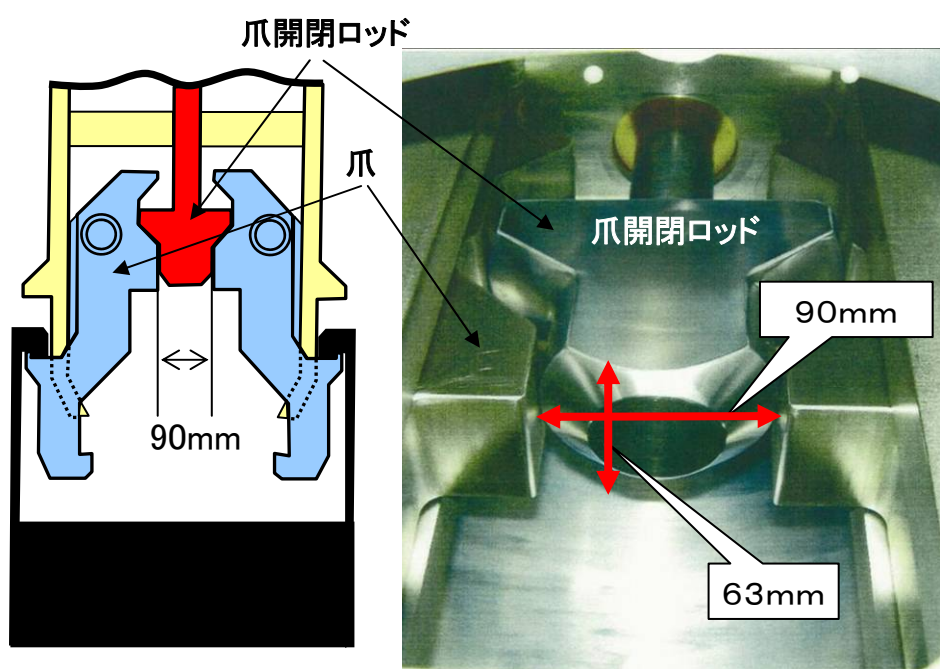
【発生日時】平成22年8月26日(木)14時48分ごろ

【発生状況】燃料交換作業の後片付けのため、原子炉建物において、炉内中継装置を取り外す作業をしていたところ、原子炉容器内より約2m位吊り上げた時点で、吊り荷重が急減して衝突音を確認しました。グリッパ昇降荷重を確認したところ、グリッパで炉内中継装置をつかむ前の初期荷重まで降下していました。



## 調査状況

- 8月28日から、ファイバースコープやCCDカメラを用いて、原子炉機器輸送ケーシング吊り上げ装置グリッパの外観確認を実施しました。
- 8月29日までに、2つあるグリッパの爪に異常がないことを確認しました。一方、グリッパの爪を開閉する「爪開閉ロッド」が、グリッパの爪に対して正しい状態から約90度回転していることを確認しました。
- グリッパに異常が認められたことから、原子炉機器輸送ケーシングを原子炉建物からメンテナンス・廃棄物処理建物へ搬送しました。今後、グリッパなどの詳細な点検を実施し、原因究明を行う予定です。



爪開閉ロッドの正常な状態

